

原発がこわい女たちの会  
<http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/>

《 2015年12月 | トップ | 2016年02月 》

検索

2016年01月30日(土)

検索

高浜原発3号機の再稼働に抗議する

アーカイブ

1月29日夕方、関西電力は高浜原発3号機の制御棒を引き抜き原子炉を起動させた。新規規制基準のもとで再稼働したのは川内原発に続く3機目。そして初のプルサーマル発電でもある。

京都、滋賀など周辺自治体の同意権の無視、あまりにも不十分な避難計画、基準地震動算定や放射能放率にみるリスクの甘すぎる想定、免振重要棟や電気ケーブル問題、などなど納得できないことをあげればきりがなし。核燃料サイクルの行き詰まり、なにより使用済み核燃料の中間貯蔵も最終処分も全く見通しがたっていない。

福井地裁は15年4月、高浜原発3、4号機の運転差し止め仮処分(樋口裁判長)をだしたが、12月後任の裁判長は関電の異議申し立てを認めて仮処分の取り消しを決定し、司法判断をわずか8か月で覆した。

これら国民の安全を省みず福島を教訓を無視した慌ただしい動きは、何があっても原発再稼働を押し進めようという電力会社と、国の意思を感じさせる。

以下、美浜の会、原発なしで暮らしたい丹波の会とグリーン・アクションから出された抗議声明を転載させていただきます。

抗議声明

**福島原発事故を無視し、住民の生命をないがしろにする  
 高浜原発3号機の原子炉起動に断固抗議する！**

抗議声明のPDF:

[http://greenaction-japan.org/internal/160129\\_takahama\\_kogi.pdf](http://greenaction-japan.org/internal/160129_takahama_kogi.pdf)

関西電力は本日(1月29日)、多くの人々の反対の声を無視して、高浜原発3号機の原子炉起動を強行した。MOX燃料24体を装荷し、超危険で使用済MOX燃料の行き場もないプルサーマルを開始した。私たちはこれに断固抗議する。

関電や規制庁は「福島原発のような事故を二度と起こさない」という。しかしその想定はあまりにも甘い。事故後60分でポンプ車等の対策は万全となり、格納容器は破損せず、メルトスルーは起こるがその前に放射能放出は終了、よって放射能放出率は福島原発事故の千分の1以下だと言っている。住民の被ばくは5km地点で1ミリシーベルト以下。どれも夢物語だ。福島原発事故を無視し、住民を愚弄するにも程がある。

電気ケーブル不正敷設問題にいたっては、他の原発には不正敷設の実態を報告するよう指示を出しながら、高浜3・4号と川内原発は特例としてこれを免除。規制庁は「現場検査で確認する」というが、電力会社の報告を鵜呑みにし、川内原発の場合はわずか1~2か所を現場で確認し、それで済ませている。高浜原発3・4号の場合は、現場で何を確かしているのかさえブラックボックスだ。ケーブル不正敷設は「新規性基準に違反」と規制庁自ら表明しながら、再稼働を最優先させている。住民の安全を一顧だにしない原子力推進庁になりはてしている。

避難計画の実効性は全くない。災害時要援護者の避難は困難を極め、避難手段についても実効性のある計画はいまだなく、多くの在宅の要援護者は介護者と一緒に避難できるのかさえ決まっていない。安定ヨウ素剤は、京都府7市町では各市町1か所に備蓄されているだけで、約8万8千人の舞鶴市民にどのように配布するのか等一切決まっていない。

昨年12月16日に内閣府や福井県等が策定した避難計画(「高浜地域の緊急時対応」)について、内閣府は「具体的で合理的」と宣言した。しかし、新たに追加された福井県民の汚染検査・除染場所にいたっては、実際には使わない「あやべ球場」が明記されたり、除染場所の確保等もできていないのが実態だ。関係自治体や住民にも説明はない。福井県はこれから「避難計画要綱」を改訂するというが、順序が逆ではないか。

- 2016年11月(2)
- 2016年10月(1)
- 2016年09月(1)
- 2016年08月(2)
- 2016年07月(4)
- 2016年06月(2)
- 2016年05月(1)
- 2016年04月(3)
- 2016年03月(2)
- 2016年02月(3)
- 2016年01月(2)
- 2015年12月(4)
- 2015年11月(2)
- 2015年10月(1)
- 2015年09月(3)
- 2015年08月(3)
- 2015年07月(2)
- 2015年06月(2)
- 2015年05月(2)
- 2015年04月(2)
- 2015年03月(2)
- 2015年02月(2)
- 2015年01月(5)
- 2014年12月(3)
- 2014年11月(2)
- 2014年10月(2)
- 2014年09月(2)
- 2014年08月(1)
- 2014年07月(2)
- 2014年06月(1)
- 2014年05月(3)
- 2014年04月(4)
- 2014年03月(3)
- 2014年02月(1)
- 2014年01月(3)
- 2013年12月(4)
- 2013年11月(1)
- 2013年10月(3)
- 2013年09月(5)
- 2013年08月(1)
- 2013年07月(3)
- 2013年06月(5)
- 2013年05月(3)
- 2013年04月(2)
- 2013年03月(6)
- 2013年02月(2)
- 2013年01月(3)
- 2012年12月(2)
- 2012年11月(1)
- 2012年10月(2)

多くの自治体は「再稼働は国の責任」として、自らには責任なしとする態度に終始している。しかし、国が責任を取らないことは福島で明らかだ。自治体の責務を全うするよう強く求める。

福島原発事故を無視し、住民の安全をないがしろにする再稼働に対して、私たちは、福島からの避難者、障がい者団体・支援団体と結びつき、福島事故を学びながら運動を進めている。避難元の福井と京都府北部の住民と連携し、関西一円から再稼働を止める活動を進めている。

安全性の過小評価に対する批判と、避難計画の欺瞞と実態を広く伝えながら、地域住民の声に根差し、今後一層連携活動を強めていこう。これが私たちの力の源であり、ここに再稼働を止める希望がある。高浜原発の再稼働を止めていこう。

2016年1月29日

グリーン・アクション 京都市左京区田中関田町22-75-103 TEL:075-701-7223 FAX:075-702-1952  
 原発なしで暮らしたい丹波の会 南丹市園部町船岡糞無8-2こだま方 TEL:090-3862-2468  
 美浜の会 大阪府北区西天満4-3-3 星光ビル3階 TEL:06-6367-6580 FAX:06-6367-6581

2016-01-30 | 記事へ | コメント(0)

2016年01月11日(月)

## 新成人の皆さん、あなたのご意見をお聞かせください

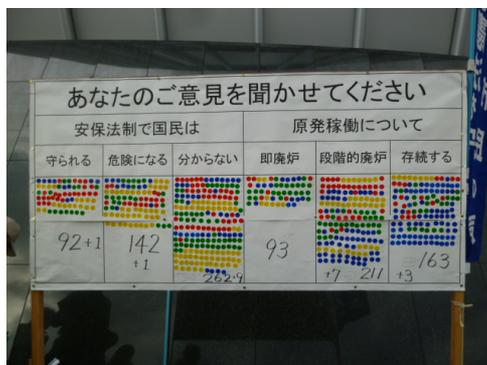
1月10日、和歌山市「はたちのつどい」に参加した新成人を対象として、会場となった和歌山ビッグホエール周辺においてシールアンケートをおこないました。テーマは、安保法制と原発稼働の2つです。主催は「平和と憲法を守りたい市民の声」、今年で12回目となります。



集計結果は、次の通りです。

- (1)安保法制で国民は
    - ・守られる 93人(18.34%)
    - ・危険になる 143人(28.21%)
    - ・分からない 271人(53.45%)
    - 回答者計 507人
  - (2)原発稼働について
    - ・即廃炉 93人(19.50%)
    - ・段階的廃炉 218人(45.70%)
    - ・存続する 166人(34.80%)
    - 回答者計 477人
- \* 和歌山市新成人 3,537人  
 \* 当日参加者 1,968人

この結果については、金原徹雄さんのブログに詳しい。  
<http://blog.livedoor.jp/wakaben6888/>



注:シールの数は回答数を満たさないものもある

- 2012年09月(2)
- 2012年08月(2)
- 2012年07月(4)
- 2012年06月(4)
- 2012年05月(3)
- 2012年04月(1)
- 2012年03月(1)

### 最新コメント

- [日韓の原発事情、国 by 民守 正義(08/21)
- そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)
- コメントありがとう by sora(12/05)
- 突然すみません。東京 by 里美(11/22)
- 10/26と11/29のチケット by 角谷(10/23)
- starさんコメントあり by sora(09/14)
- このブログを読むまで by star(09/13)
- こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)
- 現在稼働している大飯 by star(04/09)
- 廃炉産業を起こしてほ by kaziwarayosiyuki(03/14)

### カレンダー

< 2016年01月 >						
日	月	火	水	木	金	土
						1 2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

### 最新記事

- 琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13琵琶湖集会(11/15)
- 汐見文隆先生、ありがとうございました(11/08)
- 原発がこわい女たちの会 ニュース99号発行(10/12)
- 高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)
- 老朽原発・美浜3号機は廃炉に！ パブコメを出そう(08/28)
- ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)
- 熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)
- 老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)
- 原発のない社会を投票で示そう！(07/05)



今回、アンケートしながらいろいろ考えさせられました。例えば、**新成人1(男)**

「原発は安い(から存続)」の観念が刷り込まれていました。「事故を起こしたのは東京電力、他の電力会社は違うので原発は存続してよい」、「火力発電でも事故は起こりうる。原発の危険性だけ責められない」などなど。現実をまったく見ようとしないノーテンキな屁理屈、と言えばその通り。でも、放射能事故の影響の甚大さは火力発電所の事故と同列には並べられない、原発による電気料金は事故や廃炉の費用を反映していない、規制委員会がGOサインを出したから安全が保証されたわけではない、そのような私の説明は彼の心にはなかなか届かない。説明が下手くそなせいもあるが、本心から彼に言いました。「おばちゃん、ここでそんな話こそしたかったんやわ、もっとゆっくり時間かけてな」

#### 新成人2(女)

アンケートへの協力を頼んだら、つっけんどんに断られました。そのとき彼女が口にしたのは「私ら、大学にも行ってへんし、そんなことわからんわ！」こちらは一瞬??で、大学とは何の関係もないのだと言ったが無視されました。

後になって気が付いた。彼女は、SEALDs(シールズ)のことを念頭に置いていたのだ、と。安保法制に反対して昨年メディアに登場したSEALDsの学生たちの華々しさを、自分とは別世界の出来事(ある種の嫉妬感も内在させつつ)と捉えていたのではないのでしょうか。安保法制への関心や評価以前のことで。私の憶測が正しいとすればですが、決して「若者」と一括りにできない難しい現状を見せつけられる反応でした。

シールアンケートの集計結果や上記2つの例を見ても、道は遠いなあと感じてしまいますし、またここ数年の結果を見比べても(先の金原さんのブログ参照)、好ましい方向に向かっているとは言い難い。それでも、諦めたり、「別世界の人たち」と切り捨てたりするわけにはいかないのです。あたりまえですが、私たち大人は、自身がやるべきことをやりつつ、彼らと関わり合う手間をいとわない、しかないのかも知れません。以上、soraの個人的な感想でした。

■ 崎山さんの講演会が17日に迫ってきました。放射線被ばくの問題について一緒に学んでいきませんか。和歌山近辺の方、ぜひご参加ください。

### 身近な放射線と健康被害について【再掲】

福島原発事故からもうすぐ5年。福島県では小児甲状腺がんの多発が報告されています。(事故当時18才未満だった受診者のうち、先行調査・本格調査合わせて138人の甲状腺がん、あるいはその疑いがあります。)

甲状腺は身体の代謝、成長、成熟に必須の甲状腺ホルモンを産生するところです。成長期の子どもたちにとって大きなリスクを背負い込むことになりました。さらに、低線量被ばくによる健康被害は甲状腺がんだけではなく、被ばくするということは子どもたちの未来にどのように影響してくるのでしょうか？

身近な放射線と健康被害について本当のことを知るために、崎山比早子さんに来ていただくことになりました。是非ご参加下さい。

- 日時 2016年1月17日(日)13:30~16:00
- 会場 ビッグ愛9階会議室A(和歌山市手平2-1-2)
- 講師 崎山比早子さん
- 参加協力費 500円(参加申込不要・当日参加可)

#### 崎山比早子さんの略歴

1974年千葉大学大学院医学研究科修了 医学博士  
元マサチューセッツ工科大学研究員  
元放射線医学総合研究所主任研究官を経て高木学校メンバー  
元国会事故調査委員会委員

\*高木学校とは  
(故)高木仁三郎さんが市民の科学者を育てるために  
1998年に設立した学校です。

○主催 子どもたちの未来と被ばくを考える会

原発がこわい女たちの会  
ニュース98号発行(07/04)

SCHEDULER

ナビゲーション

トップ  
記事の投稿  
管理  
RSS  
ログアウト

BLOGariは2017年1月末  
サービス終了します

事務所:和歌山市三番丁6関西電ビル4階 金原法律事務所内  
問合先:事務局 松浦 TEL:073-451-5960  
協賛:生活協同組合 コープ自然派和歌山/にんにこ被災者支援ネットワーク  
和歌山/上岩出診療所/原発がこわい女たちの会(順不同)

---

2016-01-11 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#) |

